

### 第3回放射線管理士セミナーの感想

福井県放射線技師会 放射線管理委員会 西郡 克寛

平成23年12月3日（土）に神奈川県放射線管理士部会、福井県放射線技師会との共同主催により、第3回放射線管理士セミナーが、北陸福井県の福井赤十字病院にて開催された。

今回の開催に関し、福井県側からのお手伝いという形で関わらせていただいた。人選された理由は本県技師会での活動の一部として、福井県原子力防災訓練への参加、住民サーベイの方法の指導、訓練後の検証報告があるからであろう。

福井県放射線技師会の活動として、対他県放射線技師会とのものはあるが、対部会とのものは初めてであったので、雰囲気、規模などが全く初めてであったが、神奈川県放射線管理士部会の方と連絡を密に取り合い、助言をいただきながら当日朝を迎えた時には感慨深いものがあった。

内容は、福井県から見ると、目から鱗が落ちるような、普段からの行政とのかかわり合いや地道な活動内容。見習わないといけないと感じた。

神奈川県放射線管理士部会としての東北大震災時の依頼要請、出発から、現地での活動など克明な報告があり、当時の混乱ぶりや、住民の方々にいかに受け入れられていたかがよく理解できた。福井県敦賀市民病院、徳永先生の講演もあり、TVでは放送されないような現地の内容、福島第一原子力発電所でのことが聞けた。震災最前線での過酷な状況が手に取るようであった。意見交換会で、住民サーベイ、検案サーベイに参加された方々の意見をもらい、日本放射線技師会に揚げることにより、これから先、数十年続くであろう、福島第一原子力発電所1号機、2号機の廃炉作業に従事される方対象の診療所への派遣業務に会員の理解が得られるような保障、ケアなどの充実を図れるようになればと思った。そうすると、長い活動になると思うが多数の会員の協力は得やすくなるであろう、と感じた。

個人的に大変興味を持ったのは、GMサーベイメーターによるセグメント法の紹介である。本県でも原子力防災訓練時住民サーベイを行うが、サーベイは放射線技師が行うが、チーム、サーベイレーンによっては看護師、事務員の場合もある。その方々にいかに解りやすく方法を習得してもらえるかがずっと課題であった。標準化をめざしサーベイの方法を考えたが、このセグメント法みたいに簡潔で理にかなった方法は見いだせなかった。震災現場に行つての経験を加わっていると聞いたので、「訓練」ではなくより「実戦」に近い、使えるサーベイ方法だと強く感じた。是非、福井県でも活用し広めて、原子力防災訓練時に他職種の方々にも知ってもらいたいと思った。

今回の大震災は風化させてはいけない。息の長い活動を会員に啓蒙するために、福井県としても頑張らないといけないと感じた。

神奈川県放射線管理士部会の今後、更なる発展、活躍を期待しております。

ありがとうございました。